

～川と人、人と人をつなぐ～

# 河川レンジャー 淀川管内

RIVER RANGER

## News No. 4

### 河川レンジャーって？

行政と住民とが一体となった河川管理を目指すため、淀川・宇治川・桂川・木津川をフィールドとした川に関するさまざまな活動を行い、住民のみなさんに川に対する意識を呼びかけている行政と住民のコーディネーター（橋渡し役）です。



カルガモ

## 川辺の自然にふれてみよう！



気候の良い秋には多くの観察会も行われました。毎月第2日曜日に淀川下流域で行われている菊井レンジャーの活動では都会でありながら発見できる野鳥の多さに驚かされます。9月に行われた立川レンジャーによる点野わんでの観察会では残暑の中でしたが、川辺ですでに秋の植物が見られ、一足早く秋を感じる事ができました。また、子供たちに人気の魚とりの他、参加者全員に向けて採取した魚や生き物の解説と水質調査を行い、淀川の水についての理解を深めました。

秋の観察会では、主に色づいた植物を多く発見できたことが印象的でした。冬の河川敷は厳しい寒さですが、渡り鳥が多く飛来し野鳥の観察にもっとも適した環境となります。どんな野鳥の姿を目にする事ができるのか、楽しみですね。

坂本レンジャーは宇治川支川にて観察会を行い、川の生き物の採取と解説の後、自然素材や身近な野草を使った工作とゲームを行い、自然の中でのさまざまな楽しみ方を伝えました。田子レンジャーは桂川河川敷をゆっくり歩きながら野鳥と野草の観察を行い、桂川が見せる秋を紹介しました。（表紙写真 右中央）

▼くつつきむしの名で知られるオナモミ。ダーツの矢に大変身！



▶折り紙コーナーでは来場者に水辺の生きものにチャレンジしていただきました。



環境について楽しみながら学び考えることができるイベント「京都環境フェスティバル2007」。「河川レンジャーブース」では、桂川流域で活躍中の3人のレンジャーより桂川を中心とした取り組みが発信されました。

次号案内  
**河川レンジャー News No.5**  
4月発行予定

## 京都環境フェスティバル 出展 2007



### きれいにしよう、河川敷。

9月に行われた野路レンジャーによる河川清掃にはあいにくの雨により広範囲の活動はできませんでしたが、それにしても関わらず、30名近くの方がご参加下さいました。夏に伸びきった草はきれいに刈り取られ、ゴミ袋30個分にもなりました。

### 桂川ってどんな川？ ～桂川講座～



10月5日に行われた、中村レンジャーによる桂川講座。行政・住民・漁業：それぞれの観点からみた桂川の現状と今後についての講演会が行われ、後半のディスカッションでは聴講者より桂川に対する多数の質問、要望が寄せられました。



淀川管内河川レンジャー事務局

〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32  
TEL: 072-861-6801 (9時～17時) <http://www.river-ranger.jp/>

# 新レンジャー誕生!



▲養成講座での「河川レンジャーとしてやりたい活動」の発表。さまざまな活動案が出されました。

淀川管内河川レンジャーがスタートして4年。本年度より初めて開講された淀川発見講座・レンジャー養成講座の受講者の中から審査を経て、新たに6名の河川レンジャーが誕生しました。

今回誕生したレンジャーは4月より、先輩レンジャーとともに活動をすすめていきます。

## 新しく選ばれたレンジャーよりひとこと

- 高槻管内** 吉川 正之レンジャー  
「川を愛する心は子供時代の体験から」をモットーに小学生の「水辺の楽校」に取り組みます。
- 山崎管内** 谷岡 寿和子レンジャー  
日本一の「鶴殿のヨシ原」に遊びに来ませんか? ほんまおもろいよ。
- 伏見管内** 望月 斐加レンジャー  
素敵な河川になるよう地域の方々とともに考え、活動していきたい
- 枚方管内** 萩司 弘之レンジャー  
今年は皆様と一緒にどんな淀川の自然発見ができるのか楽しみです。よろしく!
- 瀬野管内** 瀬野 卓男レンジャー  
皆様と淀川を学びたいと思います。よろしくお願ひします。
- 桂川管内** 柳沼 宣裕レンジャー  
川を活かしたまちづくりや防災普及活動が得意。川の古写真探偵も。

私たちの川を見る・知る・考える

## マイ・リバーウォーク



①横大路地区 ②納所地区  
一問われる川と用水路のゴミ問題

大切な水と、人との暮らしの関わり。身近にある川の現状の改善を目的に、仁枝レンジャーによる「マイ・リバーウォーク」が京都市伏見区の2つの地区で行われました。

かつて舟運(川)と農業(水路)で栄えた人と物流のまち…。あらためてじっくりと私たちの町、そしてそこに流れる川を観察しながら歩くことで、また語りべによって普段は見えなかった良い所、そして深刻なゴミ問題などの課題も見えてきました。

参加者はそれぞれが川歩きの中で感じたことを持ち寄って、町がもつ魅力や課題を再認識しました。

◀ 古老による語りべ。

## 力を合わせて川と町を守ろう!

10月21日 辻川レンジャー・菊井レンジャー



淀川河川公園 西中島地区にて開催された「よどがわ河川敷フェスティバル」内に設けられた「河川レンジャーコーナー」では、洪水によって水が溢れでた町の様子を疑似体験できる水中歩行(写真左)と水没ドア(右)の体験施設が設けられました。

二百五十名以上の体験者は「町に水が溢れ出すとこんなに歩きにくいとは知らなかった」「洪水が起ったら家から脱出するのも一苦労だ」と、水害の怖さを体感したようでした。

同時にパネル展示にて防災の大切さ、自然の素晴らしさについても呼びかけました。

## 小学校でも活躍中です!



小学校と連携しながら、河川レンジャーによる児童への河川啓発の動きが高まっています。

主にこの秋(9月~11月)に行われた活動として…

中川レンジャーによる「京都伏見ジュニア河川レンジャー」では、地域の財産でもある宇治川の歴史を伝え、川を大切にすることを育むことを目的に5月より実施中です。

田子レンジャーは総合学習の中で、写真や野鳥のはく製を用いて自然の素晴らしさを児童らに紹介した後、川のゴミでもよく目立つレジ袋削減のため風呂敷のいろいろな活用法を紹介し桂川の美化につけてさまざまな角度から呼びかけました。

上田レンジャーは点野わんどやスーパード防、茨田樋遺跡公園などを巡り、当時の写真との比較と語りべによる、治水と地域との歴史を発信しました。

また、中島レンジャーは高槻市内の学校を対象に、自然観察会を行い、芥川に棲む魚を中心とした生き物の採取と観察を通して川の楽しさと自然の大切さを伝えました。

どの活動でも、児童らは川の自然を前にするとそこに棲む命の不思議さに目を生き生きと輝かせ、また実際に川辺にて歴史の足跡を目にする中で自分が住む地域の川が語る歴史にも興味を持った様子が見られます。

川を守り育てていこうという心はきつとこのような体験の中で大きく育まれることでしょう。



## 外来種問題にも取り組んでいます



淀川における外来種問題は年々深刻化しています。もともと淀川にいた在来種を守るため、河川レンジャーによる特定外来生物の防除がこの秋、淀川管内の数カ所で行われました。

中島レンジャーは芥川にて外来魚の防除、原田レンジャーは天然記念物のイタセンパラが棲むことで知られる城北わんどにて同じく外来魚の防除(表紙写真右上)を行い、また立川レンジャーと上田レンジャー合同による点野わんどでのクリーン作戦では、清掃とともにわんどに広がる外来植物の防除を行いました。

どの活動でも魚とりや清掃活動で終わらず特定外来生物についての理解を深めるために講師による解説などをまじえて外来種問題の原因と現状、地域の生態系を守ることの大切さについて活動を通して考えています。

# 河川レンジャー 活動案内

～3月

- 活動の参加お申込、お問い合わせは事務局にて受付いたします。
- 小学生以下のお子様は保護者同伴でのご参加をお願いします。
- 活動の詳細は決まり次第、ホームページからも発信していきます。

福島管内・菊井レンジャー

## 「河川レンジャー自然観察会」

淀川下流域は多くの野鳥が見られる自然の宝庫！都会で見られる冬どりをじっくり観察しましょう。

日程：毎月第2日曜

(1月13日、2月10日、

3月9日)

実施場所：十三干潟

柴島干潟

9時30分に十三駅東口集合

参加対象者：一般



福島管内・辻川レンジャー

## 「淀川探検隊」

自分の町にある豊かな自然とそれを守る心を育むため、子供たちに環境や河川利用に関する啓発活動を行います。

日程：2月中旬

実施場所：淀川河川敷、小学校

参加対象者：小学校との

連携により実施



毛馬管内・原田レンジャー

## 「淀川河川敷の葦刈り」

### および葦を用いた工作

淀川を代表する植物の一つ「葦」。葦が持つ水質浄化の能力を生かすため、①葦刈り（ヨシ原の観察および葦工作の材料集め）と、②刈った葦を用いたコースター等の工作を行います。

日程：

活動① 葦刈り 1月下旬予定

活動② ヨシ工作 3月中旬予定

実施場所：

活動① 高槻鶴殿のヨシ原

活動② 都島区民センター

(都島区生涯学習発表会

での活動)

参加対象者：小学生以上



▲葦刈りが行われる「鶴殿のヨシ原」は多様な生態系を持つことで知られています。

高槻管内・中島レンジャー

## 「淀川・芥川の多様な生態系を守ろう！」

講師の指導のもと、芥川堤防を歩きながら野鳥を観察し、野鳥にとって大切な環境・芥川の景観について学びます。

日程：①1月19日(土)

②2月16日(土)

実施場所：

①芥川・淀川合流点付近

②芥川中流部

参加対象者：小学生以上

①芥川下流ウォッチング

②芥田野鳥観察会

講師の指導のもと、芥川堤防を歩きながら野鳥を観察し、野鳥にとって大切な環境・芥川の景観について学びます。

日程：①1月19日(土)

②2月16日(土)

実施場所：

①芥川・淀川合流点付近

②芥川中流部

参加対象者：小学生以上

①芥川下流ウォッチング

②芥田野鳥観察会

講師の指導のもと、芥川堤防を歩きながら野鳥を観察し、野鳥にとって大切な環境・芥川の景観について学びます。

日程：①1月19日(土)

②2月16日(土)

実施場所：

①芥川・淀川合流点付近

②芥川中流部

参加対象者：小学生以上

①芥川下流ウォッチング

②芥田野鳥観察会



▲昨年の芥川でのリバーウォッチングの様子。河川利用のマナーについても呼びかけました。



伏見管内・坂本レンジャー  
**「冬の野鳥 観察会」**

冬の宇治橋下流にはカモなどの渡り鳥やサギなどの野鳥が数多く集まります。身近にある宇治川の自然に眼を向けてみましょう。

日程：2月9日（土）  
 実施場所：宇治橋下流  
 参加対象者：一般



桂川管内・中村レンジャー  
**「桂川自然観察会」**

野鳥を中心とした観察会を通じて身近な環境について一緒に学び、児童と保護者の河川環境に対する関心と認識を育みます。

日程：1〜2月  
 実施場所：桂川流域  
 参加対象者：小学校との連携により実施



桂川管内・田子レンジャー  
**「探鳥会・美化啓発活動」**

桂川河川敷での探鳥会と教室でのお話によって、桂川の素晴らしい自然、そして河川美化の大切さを流域の小学生へ向けて発信します。

日程：1〜2月  
 実施場所：小学校および桂川河川敷  
 参加対象者：流域小学校との連携により実施



**「バードウォッチング」**  
 ～冬どりを探そう～

オオタカ、カワセミ、カモ類など、冬の桂川ではたくさん野鳥の姿を見ることが出来ます。観察を通じて桂川の自然の素晴らしさを伝えます。

日程：1月20日（日）  
 実施場所：JR西大路駅、阪急西京極駅  
 9時にJR西大路駅集合  
 参加対象者：一般

桂川管内・田子レンジャー  
 山崎管内・仁枝レンジャー  
**「桂川クリーン大作戦」**

桂川は貴重な自然環境でありながら、ゴミの多さに悩まされていることも事実です。いま一度、住民が連携して桂川の美化について考え、取り組んでみましょう。

日程：2月17日（日）  
 ※雨天時24日（日）に順延  
 実施場所：広く桂川流域  
 参加対象者：各種団体及び一般



▲昨年のクリーンアップ活動の様子。  
 みなさんの協力でゴミが減らせるといいですね。

**冬どりの観察に行こう！**



冬の河川敷には多くの野鳥が集まりバードウォッチングに最適です。厳しい寒さではありますが、そこに棲んでいる野鳥に加えて冬の渡り鳥がたくさん見られます。また水辺は視界が広く野鳥の姿が発見しやすい場所なので、鳥の名前や種類がよくわからない、というバードウォッチング初心者の方にもおすすめ。水辺でよく見られるサギやカモの仲間は他の野鳥と比べ、姿が大きくて動きは少ないので識別もしやすいのです。あたたかい格好をして、冬どりを探しにでかけましょう。

- あると便利  
 双眼鏡、小型の図鑑、筆記用具、カメラ、地図など
- 音で鳥をおどろかせない。  
 鳥は音に敏感です。ラジオやおしゃべりは禁物。
- 服装は周りの風景と違和感のないものを。  
 鳥は色を見分けることができます。自然の中では緑色や茶系統が無難。
- 干潟での観察時は潮の時間を調べておく。  
 干潮から潮が満ち始めるまでに観察を始めるのがいいでしょう。
- カメラや双眼鏡を覗いたまま移動しない。  
 転ぶ、川にはまる等、ケガの原因になります。